

# 178<sup>th</sup> ECM Society Seminar

場所：基礎医学棟 2F 大学院第1講義室 対面形式

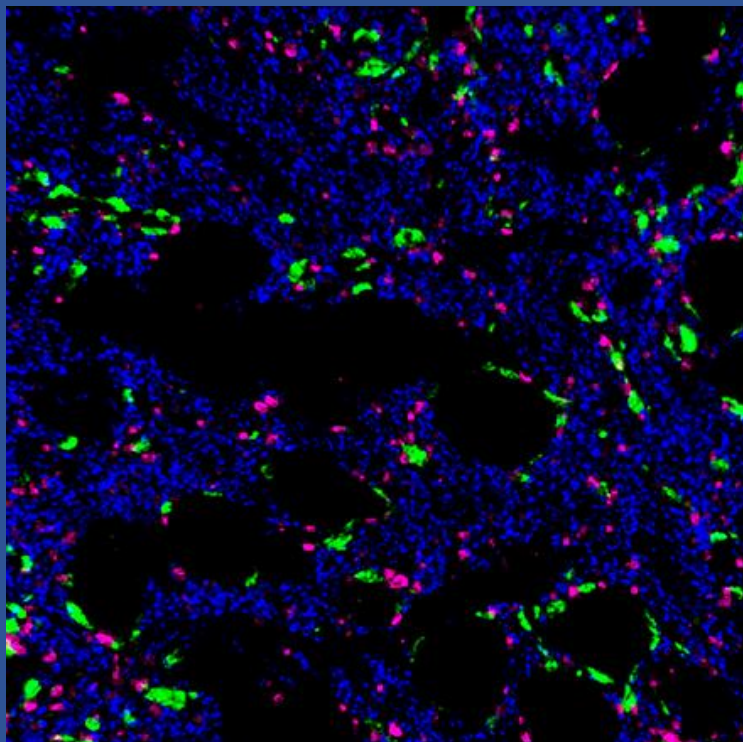
日時：2026年3月13日（金）17:30 ~ 19:00

演題：シナプスの維持に関わる細胞外マトリックス分子  
-extracellular matrix molecules involving in synapse maintenance-

講師：東京女子医科大学医学部 生理学講座（神経生理学分野） 植田 禎史 先生

**Dr. Yoshifumi Ueta**

要旨：体性感覚回路では発達期の経路特異的なシナプスのリモデリングや維持を経て、身体部位に対応した機能的地図（体部位局在）が構築される。しかし、シナプス特異的にリモデリングを引き起こす、またはシナプスを維持するという異なる運命決定を制御する分子機構はよくわかっていない。現在、マウスの体性感覚視床回路をモデルに、特定の細胞外マトリックス分子が、シナプス特異的な維持機構に関係するのではないかと考えている。この分子に着目するに至った経緯、実験手法なども踏まえ、これまで得られた知見を紹介したい。



連絡先 分子医化学 大橋俊孝 (7127, oohashi@cc)

この研究会は、博士課程授業科目の「研究方法論(基礎・応用)」の授業としてカウントすることが可能です